

2017年10月20日（金）

## 「2018年度 卒業研究1 配属」において小宮山研究室を志望してくださった皆さん

### 配属選考過程について

小宮山研究室を第一志望にしてくださった16名の方の志願書を拝見いたしました<sup>i</sup>。いずれも素晴らしい、どの方とも“一緒に研究したい”と、熱望しました。

しかし「最大12名」という定員があります。選考しなければならないことは、とても辛いことでした。説明会、そして私のホームページでお話しさせていただいた定員超過時の選考方法に従い、志願書の研究計画（「問い合わせる構想力・斬新な仮説を導き出す独創性・検証方法に関する応用力・結論を導き出す論理的思考力」の4点）で選考させていただきました。しかし誠に甲乙つけがたく、とても悩みました。

振り返ってみると、僅差で採否を分けたのは、皆さんにご訪問いただいたときの私のコメントだったような気がいたします。皆さんのアイディアに、いろいろヒントを出させていただいて、それに対して皆さん、とてもよく考えていただいたのですが、限られた時間内では“たまたま”アイディアを出し切れない、またはまとめきれなかったものもあったのではないかと感じました。それは決して能力の差ではないと思います。卒業研究ならば、もっとゆっくり考えられ、また繰り返しコミュニケーションをとれるので、16名の方、全員必ず素晴らしい研究をしてくださると確信しています。また私との相性のようなもので、コメントが、たまたま“はまった”ということもあったかもしれません。

ご希望いただいた方の中には、社会学のレポートを拝読したときに「この方とぜひ一緒に研究したい」と思ったことを鮮明に記憶していた方も、いらっしゃいました。ただ社会学を履修しなかった方の中には、1年前は社会学とは関係のない研究を志していましたが、その後の大学生活の中で、関心を持っていただいた方もいるかと思います。重要なのは「いまの研究計画」と考え、皆さんと研究計画書のみで選考することをお約束しましたので、社会学のレポートは考慮せずに、断腸の想いで、選考を致しました。

16名全員の、それぞれの研究室における、これから成長、そして卒業後の活躍を切望しております。

情報システム学科 小宮山智志

---

<sup>i</sup> 第一志望で定員が満たされたため、第一志望の志願書のみが、担当の先生から私に配布されました。今後、できれば第二志望・第三志望の方の研究計画所も拝見させていただきたいと考えています。ご提出、ありがとうございました。